

まちかどの元気印

日本共産党

市会議員



山田こうじです！

2019年2月10日

NO.206

事務所：西院下花田町9-25

電話：222-3728

携帯：090-3970-4701

山田こうじ共産党検索

京まちづくり緊急提言 安心して住みつづけられる京都へ

呼び込み型から オーバーンズムの解消を

京都市は、2020年には京都の外国人宿泊者が440万人になると想定し、約1万室の宿泊施設が足りないとしてホ

「違法民泊」の横行とホテル建設ラッシュによって、京都市中心部の地価はバブル期を上回る高騰ぶり、まちに若者や子育て世代、お年寄り、商売人が住み続けることができないようになりつつあります。

急激に増えた、観光客によって「観光公害」と呼ばれる事態が引き起こされ、京都観光の「満足度」が低下し続けています。



テル・簡易宿所・民泊建設を促進してきました。その結果、外国人宿泊者数は2017年には過去最高の361万に達し、宿泊施設がいつきに建設され、2015年には約3万室だった宿泊施設の客室数が2018年には約4万室に。さらに、2020年には5万3千室になる予定（京都市民報社調べ）です。とりわけ簡易宿所は2014年に460施設だったのが、2018年9月末には2675施設と約6倍に膨張。ところが京都市長は「まだ必要」と記者会見のべています。この結果、市民の生活が脅かされ、住み続けられない事態が進行するとともに、京都の観光の魅力も失われ、日帰り観光客は減少する事態となっています。まさに「住んでよし 訪れてよし」とは逆行する事態です。

過大な観光客誘致目標は見直し、市民と観光客の安心・安全を守るための規制を行う必要があります。

簡易宿所・民泊など宿

泊施設建設・運営の規制を強化が必要です。

住宅密集地、細街路、袋路・路地奥、連棟（長屋）、マンション等での営業は厳しく規制する。

宿泊施設の「管理者常駐」を義務づける。建築基準法・消防法・衛生基準を厳守する。

近隣住民の合意を得られない計画は認めない。

条例違反・違法行為が確認された施設は直ちに営業中止・許可を取り消す。

大型開発優先から 災害に強いまちづくりを！

観光客誘致の中で、北陸新幹線延伸計画・リニア新幹線誘致・堀川バイパストンネル計画など大型事業計画が莫大な自治体負担となり、財政を圧迫し、市民サービスが低下しています。

そのうえ、環境破壊、大深度地下採掘による様々な影響、在来線の縮小・廃止・運賃の値上げなどの問題が指摘されている。北陸新幹線延伸計画は中止し、東京一極集中・地方の衰退をいっそう進め、

地域循環の 経済政策への転換を！

雇用拡大や地域循環型経済に役立つ生活道路・上下水道・学校整備など生活密着型・地域循環型の公共事業へ転換をすめ、循環型のまちづくりへの転換が必要です。

商業集積ガイドプランのもと、大型店などの進出で、小売商店が姿を消し、買い物困難地域が生まれる等、住みつづけられない地域が広がっています。中小企業、伝統的産業、商店街、小売店などへの支援を強化し、地域循環で京都の経済を立て直しましょう。



まいごおき
山田こうじ様へ！
母の思い出⑮
私が、市議員選挙に出ることになると伝えたときに、お袋から手紙が届きました。

「古いアルバムを紐解いていると、昔が懐かしすぎてい出され胸がいっぱいです。生まれたときは丹下（羽曳野市）の家でした。稲刈で忙しく、丹下から大堀（松原市）までお弁当を運んで、急いで歩いて、一カ月程早く生まれて来ました。小さいときは弱くて、食べてくれると喜んだもので。今ではもうそのようです。健康が何より。体に気を付けてください。遠く離れた息子へ。 セツ子」

手紙を読み返すと涙が止まりません。

お母ちゃん、ありがとう。